

かたの



R4. 10.22
形埜小学校
校長室だより

今日の舞台を迎えるにあたり

キッズデイズが明けると同時に教室・音楽室・体育館から、学芸会の練習の音が校長室に毎日、心地よく響いてきました。日々、その声の響きは力強くなり、言葉に魂がこもっていきました。体育館練習では、遠くに声が届くようにと響きが高まり…、小道具を手にして動きが変わり…、衣装を着て魂が入り…、多くの人の前で演技(校内学芸会)にちょっとドキドキ…と、たくさんのハードルを越えながら今に至ります。そして、今日は、家族の前での演技です。どんな魔法がかかるのか楽しみで仕方ありません。

学校では、子どもたちに「なりきることは楽しいこと」と声をかけてきました。自分で考え、それぞれの解釈で表現しようと、お互いに声を掛けながら練習しました。是非、お家で『心に残るなりきりシーン』について、語り合っただけだと笑顔も膨らむと思われます。

◆3年ぶりに456年生が学芸会運営のための係も担っています。

◆全員が「初めてのこと」です。その様子もぜひご覧ください。

保護者の皆様には衣装の準備等様々なご協力をいただきありがとうございました。改めて、感謝申し上げます。なお、本年度も感染症対策のため、入場や観覧につきまして、ご不便をおかけいたします。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

校長 清水 佐知子

